

## 第2次松戸市食育推進計画（案）

### パブリックコメント（意見募集）手続きの実施結果を公表します。

「第2次松戸市食育推進計画（案）」の作成にあたり、市民の皆様からご意見を募集したところ2名の方からご意見を頂きました。ご意見の提出ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見を整理し、市としての考え方をまとめたのでお知らせいたします。

#### パブリックコメント手続き実施結果の概要

- 1 意見募集期間 平成26年6月1日（日）～平成26年6月30日（月）
- 2 意見提出者数 2名
- 3 意見件数 8件
- 4 意見内容 下記の通り

No.	項目・頁	意見（全文）	市の考え方	修正の有無
1	43 ページ 基本目標2,3	1)基本目標の2と3は順序を入れ替えるべきと考える。食育を考える場合、地元食材を学ぶより、健康を考慮した食生活を学ぶほうが優先度は高い。まして、松戸市の農業生産力(出荷額からみた)は低く、影響度は小さい。2)基本目標2は不要と思うが、残すなら、松戸市に限定せず、東葛地区あるいは千葉県にすべし。理由は前述の松戸市の農業生産力の低さからである。たかだか、12億円の農業出荷高のものを中心に据える必要はない。	○基本目標の順番は、優先順位を表すものではなく、3つの基本目標を並列で考えております。 ○基本目標2「地域でとれる食材の魅力や食の成り立ちを学ぶ」につきましては、より身近なところでとれる食材の季節性や魅力を感じていただき、食の成り立ちを学んでいただきたいと考えているものです。地域については、松戸市を含む周辺地域とすることから、p46の「市内」を「地域」とさせていただきます。	修正
2	40 ページ (2)の2	「死因の半数以上が生活習慣病」は抹消すべき。理由を以下に述べる。1)期待される課題といいながら、具体的な施策に結びついていない。2)論理的表現でない。例えば生活習慣病のひとつに脳溢血は分類されるが、脳溢血の原因は、外的ショックや先天的病、遺伝などがある。「逆は必ずしも真ならず」という中学の数学でも習う論理が守れない表現はやめるべき。	死因のうち生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患など）の占める割合が高いことから、生活習慣病を予防するためには、食事の改善や適度な運動などをおし、健康の維持・増進を図ることが重要であることから、課題として考えております。	なし
3	44 ページ 食育推進の3原則	1)3原則の順位は、その重要性を考え、継続-総合性-独自性とすべきと考える。2)独自性の中で、市場や大学の数をうたっていましたが、独自性の要は数でなく質であると考えている。隣接する東京都と同等か勝るものが何かひとつでもありま	○3原則の順番は、優先順位を表すものではなく、3つの原則を並列で考えております。 ○独自性の基本的な考え方といたし	なし

		すか。あれば、それを強調してください。	ましては、他と比較することではなく、本市が有する強みを活かして施策を展開することにあると考えていることから、記載したものであります。	
4	計画全般	78 ページの(4)計画策定経過を見ると、計画策定にはアンケート結果が重要視され、利用されていたことがわかる。しかしながら、アンケートの回収率が4割をきったことの分析がされ、計画に反映されているとは思えない。すなわち、市民の6割以上が「食育に関心がない」か「行政がすることに関心がない」とかの理由で回答していないと考えるべきである。(回答者の多くは関心がある人。ゆえに、言葉は知っている人が90%以上)よって、それら関心のない人たち(全体の6割以上)に焦点をあてる必要があるが、それに対する施策・事業がない。例えば、食育の説明や食育の必要性を、市の広報やその他の手段を通じて理解を求める施策が必要と考える。確かに、国の第2次食育推進基本計画ではコンセプトが「周知から実践へ」となっているようだが、少なくとも松戸市は「周知」の段階と考える。松戸市は地域の実情にあった計画を立てるべきである。(このような基本的な事柄が、食育推進会議で検討されないことが不思議ではあるが)	○調査は理論的に適切な方法で行い、幅広い世代を対象とした市民アンケート調査として有効な回答が得られたと考えております。 ○食育は、一朝一夕で実現できるものではなく、引き続き、食育を推進し、定着化していくためには、3原則(継続性、総合性、独自性)が重要であると認識していることから、周知を含め、できることから実践し、広く普及していきたいと考えております。	なし
5	46 ページ基本目標2の①から③	・食育の目的を考慮すると、施策の優先順位は、③ - ② - ①の順序と考える。現案は、農業従事者や販売者にとっての優先順位に思える。・そもそも③の「給食を活用した食の指導」は地元産品とは直接は関係ない。①および②とは切り離して、③を独立させるべき。	○基本施策の順番は、優先順位を表すものではなく、3つの基本施策を並列で考えております。 ○学校給食において地場産物を活用することは、地域の食文化の理解や食べ物への感謝の心の育成という観点から食育の推進には重要と考えております。	なし
6	51 ページ以降の推進事業	事業を 1.食育に直接関係するもの 2.食育に間接的であるが関係し、食育に対し効果が期待できるもの 3. 食育に関係しない、ほとんど効果が期待できないもの に分類し、それを明示する。また、3.は抹消する。3.を例示する・生ごみ処理容器購入の促進～排出された生ごみを処理施設に持ち込まない施策であって、生ゴミを出さないもの(ゴミを出さない食育)ではない。・博物館展示事業 ～ 食育の目的とどのような関係にあるのか理解不能。・松雲亭運営事業 ～	○食育は、基本理念に掲げているとおり、『「食に関する知識と食を選ぶ力を身に付ける」ために求められる学び』であると考えていることから、3原則にも掲げている総合性の観点から、食に関する多面的な学習機会が重要であるとと考えております。	なし

		<p>将軍コース・将軍フレンチを市民の何人が食しているかは知らないが、食育に対する効果は極めて小さいと考えられ、これを事業とするほどのものではない。・鳥取県との交流事業～食育への貢献度や費用対効果を考慮し、抹消すべき。(一度ですむこと)</p>		
7	57 ページ モデル事業(2) 推進体制	<p>・関係団体の羅列のみである。誰が、何を主体的にするのか、役割を明確にする必要がある。・④地域・ボランティアで地域とは何をさしているのか。町会などの地域団体なのか住民個人なのか不明確。地域団体であれば、②と③も含まれている。</p>	<p>本計画が決定後、市の推進会議の中で、詳細に検討していく予定であります。また、ここでの地域とは、モデル事業の想定範囲としている学区内にある町会・自治会などの地域団体を想定しておりますので、「④地域団体・ボランティア」とさせていただきます。</p>	修正
8		<p>私は働く母として保育園に子を預けております。が、食育を叫びながらも、園の給食に添加物だらけの菓子パンやおやつが提供されることに甚だ疑問を感じております。これは、学童や学校給食等にも言えるのでしょうか。「食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」ことを本気で目指すなら、不要な添加物の排除、味覚形成を妨げるおやつなどは控える提言をしていただきたいと思います。今世の中に出回る食品には、遺伝子組み替え品や添加物投与による大量生産、キャリーオーバーなど品質の面で問題が多々あります。</p> <p>低い予算で低い質の食事を提供するのではなく、子供たちやそれを取り巻く環境に対して、もっと予算をつけて、子、親、関係者が考える機会をいただきたいと思います。</p> <p>宜しく願いいたします。</p>	<p>集団給食におきましては、食の大切さを見直す貴重な機会であると捉えております。ご意見の食の安全性についてであります。各施設とも、指針や基準などに基づき実施しているものであります。食育は、基本理念に掲げているとおり、『「食に関する知識と食を選ぶ力を身に付ける」ために求められる学び』であると考えていることから、引き続き関連部署に対して質の良い食事の提供や食の安全に関する働きかけを実施してまいります。</p>	なし